試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

令和８年度　第一薬科大学【看護学部】看護学科
一般選抜試験問題［Ⅰ期］第１回

試験選択科目	生 物	数 学	国 語	**必須科目**	英 語

受験番号									氏名	

令和8年1月30日（金）10時00分～12時00分

［注意事項］

1. 受験票は机の前方に常に掲示しておく。
2. 机の上には，鉛筆，消しゴム，時計のほか予め許可されているもの以外は置かない。
3. 携帯電話，スマートフォン，腕時計型端末等の電子機器類は必ず電源を切って，かばんの中にしまう。（アラーム等の音がでる設定は解除する。）
4. 開始の指示にしたがって，直ちに**問題冊子**および**解答用紙**を確認する。
   生物は1～11ページ，**数学**は12～16ページ，**国語**は17～32ページ，**英語**は33～41ページにある。**解答用紙**は試験選択科目用が1枚，必須科目の英語用が1枚の**合計2枚**である。落丁等があれば，手をあげて監督者に知らせる。
5. はじめに問題冊子 **試験選択科目欄の解答する科目と必須科目の英語を丸でかこみ，受験番号**と**氏名**を記入する。**解答する科目は必ず受験票と同じものを選択**する。
6. つづいて解答用紙に**受験番号，氏名，受験地，その用紙で解答する試験科目**を記入し，受験番号欄をマークする。
7. 解答用紙に，正しく記入・マークされていない場合は，採点できないことがある。**ダブルマーク**（一列にマークを二つ塗る）**されている場合は，採点の対象外**になる。
8. 問題冊子の空白部分はメモや計算などに便宜使用してよいが，切り離してはいけない。
9. 途中退出は認めない。
10. **問題冊子および解答用紙は，いずれも持ち出してはならない。**

学 校 法 人　都 築 学 園

第　一　薬　科　大　学

生　物

問１, 問２　ヒトの血液循環に関する以下の文章を読み、設問に答えよ。

ヒトの血液循環では、（　**ア**　）から送り出された血液が肺で酸素を受け取り、（　**イ**　）へ戻る。この流れを（　**ウ**　）循環と呼ぶ。その後、肺から戻った血液は（　**エ**　）を通じて全身へ送り出され、各細胞に酸素を供給したのち、（　**オ**　）へ戻る。この流れを（　**カ**　）循環と呼ぶ。

問１　文章中の空欄（**ア**）～（**カ**）に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。

	ア	**イ**	**ウ**	**エ**	**オ**	**カ**
①	右心室	左心房	体	左心室	右心房	肺
②	右心室	左心房	肺	左心室	右心房	体
③	右心室	右心房	体	左心室	左心房	肺
④	左心室	右心房	肺	右心室	左心房	体
⑤	左心室	左心房	体	右心室	右心房	肺

問２　ヒトの血液循環において、酸素を最も多く含む血液が流れる血管はどれか。

①　肺動脈　　②　肺静脈　　③　大動脈　　④　門脈

問３　興奮の伝達に関する以下の文章中の（**ア**）～（**オ**）に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。

神経細胞に刺激が加わると、まず膜電位が変化して活動電位が発生する。この活動電位は、神経細胞内を一方向に伝導し、（　**ア**　）を通って（　**イ**　）に到達する。（　**イ**　）に活動電位が達すると、その膜にある電位依存性イオンチャネルが開き、（　**ウ**　）が細胞内へ流入する。流入したイオンの作用で、（　**イ**　）に存在する（　**エ**　）が細胞膜と融合し、内部に蓄えられていた神経伝達物質を（　**オ**　）へ放出する。放出された神経伝達物質は、（　**オ**　）を拡散して次の細胞の受容体に結合し、その細胞の興奮の引き金となる膜電位変化を生じさせる。

	ア	**イ**	**ウ**	**エ**	**オ**
①	樹状突起	シナプス末端	Na^+	シナプス小胞	軸索丘
②	樹状突起	軸索	Ca^{2+}	シナプス小胞	シナプス間隙
③	軸索	シナプス末端	Ca^{2+}	シナプス小胞	シナプス間隙
④	軸索	シナプス間隙	Na^+	神経伝達物質	樹状突起
⑤	シナプス末端	軸索	Ca^{2+}	神経伝達物質	細胞体
⑥	シナプス間隙	シナプス末端	Cl^-	シナプス小胞	細胞膜

問４　動物の学習および臨界期に関する記述のうち、**誤っている**のはどれか。

① 刷り込み（インプリンティング）は、生後まもない限られた時期にのみ成立し、この時期を臨界期という。

② 刷り込みは、一度成立するとほとんど消去されず、長期間維持される。

③ 試行錯誤学習は、動物が偶然の行動の結果から学び、行動の生起頻度が変化する学習である。

④ 慣れ（habituation）は、同じ刺激が繰り返されると反応が弱くなる非連合学習である。

⑤ 臨界期は、どの種類の学習においても必ず存在し、その時期を過ぎると学習は成立しない。

問５　減数分裂に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

a　相同染色体間で乗換えがみられるのは、第一分裂前期である。

b　相同染色体の対合がみられるのは、第一分裂後期である。

c　紡錘体の極が減数分裂を開始したもとの１個の細胞あたり４つ存在するのは、第二分裂期である。

d　相同染色体が対合面で分離するのは第二分裂期である。

① **a, b**　② **a, c**　③ **a, d**　④ **b, c**　⑤ **b, d**

⑥ **c, d**　⑦ **a, b, c**　⑧ **b, c, d**　⑨ **a, b, c, d**

問６　遺伝子型 *AABB* と *aabb* を両親として交配すると、F_1（雑種第一代）はすべて *AaBb* となった。次に、F_1 を *aabb* と交配すると、次代には、*AaBb* が 180 個体、*Aabb* が 34 個体、*aaBb* が 14 個体、*aabb* が 165 個体生じた。この交配結果から、*A* と *B* の遺伝子間での組換え価として、最も近い値はどれか。

①　2 %　　②　5 %　　③　7 %　　④　10 %　　⑤　12 %

⑥　15 %　　⑦　20 %　　⑧　24 %　　⑨　30 %

問７　代謝に関する以下の文章中の空欄（**ア**）～（**エ**）に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。

生体内で起こる化学反応の過程を代謝という。代謝は（　**ア**　）のはたらきによって常温で進行する。代謝の進行に伴いエネルギーの放出や（　**イ**　）が起こる。代謝の例には、光エネルギーを（　**ウ**　）などの化学エネルギーに変換して有機物を合成する（　**エ**　）や、有機物から化学エネルギーを取り出して（　**ウ**　）を合成する（　**イ**　）がある。

	ア	**イ**	**ウ**	**エ**
①	酵素	光合成	グルコース	呼吸
②	アミノ酸	光合成	グルコース	呼吸
③	アミノ酸	呼吸	二酸化炭素	光合成
④	遺伝子	呼吸	二酸化炭素	光合成
⑤	酵素	呼吸	ATP	光合成
⑥	遺伝子	光合成	ATP	呼吸

問８　以下の化学反応式は、どの反応をあらわしたものであるか。

$2\ C_3H_4O_3 + 6\ H_2O + 8\ NAD^+ + 2\ FAD \rightarrow 6\ CO_2 + 8\ NADH + 8\ H^+ + 2\ FADH_2$（+ 2 ATP）

① クエン酸回路　② 電子伝達系　③ 解糖系
④ 乳酸発酵　⑤ アルコール発酵　⑥ 呼吸全体の反応式

問９　自然免疫の特徴として正しいのはどれか。

① 食作用をおこすのは主にヘルパーT 細胞である。
② ウイルスに感染した細胞も除去する。
③ 自己免疫疾患の原因となる。
④ 抗体が関与する。
⑤ 脊椎動物に特有の反応である。

問１０　病原体が植物に侵入した際、侵入部位周辺の細胞が急速に細胞死を起こすことで感染の拡大を防ぐ反応を何というか。

① 系統獲得抵抗性（SAR）
② 過敏感反応（HR）
③ 植物ホルモン応答
④ RNA サイレンシング
⑤ 獲得免疫
⑥ ネクローシス

問１１-問１４　遺伝子組換え技術に関する以下の文章を読み、設問に答えよ。

遺伝子組換え技術は、さまざまな研究に用いられる。例えば、網膜の視細胞の研究のために、視細胞が蛍光標識されたマウスを作製する場合、視細胞で強く発現する(a)遺伝子の転写調節領域を PCR 法によって増幅して単離し、緑色蛍光タンパク質（GFP）をコードする DNA とつなぎ合わせる。(b)この組換え DNA を用いて、網膜で GFP を発現するトランスジェニックマウスを作製する。

問１１　ヒトの視細胞で強く発現し、視物質を構成するタンパク質はどれか。

① アクアポリン　② インスリン　③ インテグリン　④ オプシン
⑤ カドヘリン　⑥ クリスタリン　⑦ チューブリン　⑧ ミオシン

問１２　下線部(a)において、PCR 法を行う際の反応液に加えるものとして適切なものの組合せはどれか。

a カタラーゼ　**b** アミラーゼ　**c** DNA リガーゼ　**d** DNA ポリメラーゼ
e 逆転写酵素　**f** 制限酵素　**g** プライマー

① **a, e**　② **a, f**　③ **b, f**　④ **b, g**
⑤ **c, e**　⑥ **c, g**　⑦ **d, e**　⑧ **d, g**

問１３　PCR 法には二本鎖 DNA を解離させる反応が含まれる。このとき切断される結合の名称と、反応温度の組合せとして正しいのはどれか。

	切断される結合	反応温度
①	ジスルフィド結合	60 ℃
②	ジスルフィド結合	72 ℃
③	ジスルフィド結合	95 ℃
④	水素結合	60 ℃
⑤	水素結合	72 ℃
⑥	水素結合	95 ℃
⑦	ペプチド結合	60 ℃
⑧	ペプチド結合	72 ℃
⑨	ペプチド結合	95 ℃

問１４　下線部(**b**)において、すべての細胞が組換え DNA をもつトランスジェニックマウスを作製するには、組換え DNA をどのようにマウスの細胞へ導入すればよいか。正しい方法を選べ。

①　組換え DNA を導入した大腸菌を、受精卵に感染させる。
②　組換え DNA を導入した大腸菌を、成体の体細胞に感染させる。
③　組換え DNA を組み込んだウイルスを、成体の体細胞に感染させる。
④　組換え DNA を受精卵の核に直接注入する。
⑤　組換え DNA を成体の体細胞の核に直接注入する。

問１５, 問１６　植物の光屈性に関する設問に答えよ。

問１５　光屈性に関わる植物ホルモンはどれか。

① エチレン　② ジベレリン　③ オーキシン
④ サイトカイニン　⑤ アブシシン酸　⑥ フィトクロム

問１６　光が植物の一方から当たると、主にどの器官で前問の植物ホルモンが偏って分布し、屈曲が生じるか。

① 葉　② 茎　③ 根　④ 花序　⑤ 花弁

問１７　外来種の導入という人為的攪乱が生態系に与える影響として、最も適切なものはどれか。

① 外来種は主に生産者として定着するため、食物連鎖の上位の生物には影響を与えない。
② 外来種は生存競争に弱く、侵入しても在来種の生物多様性を低下させる要因とはならない。
③ 外来種の侵入は種の入れ替わりを促し、遷移を加速させて生態系を早く極相へと導く。
④ 外来種が在来種を駆逐し、種の多様性と、それに伴う生態系サービスの機能を低下させる。
⑤ 生物多様性の高い生態系は外来種への抵抗性が低く、単一な生態系よりも容易に攪乱される。

問１８　個体群の成長に関する基本原理についての文章中の空欄（**ア**）～（**ウ**）に当てはまる語句の正しい組合せはどれか。

自然界では、生物の個体数が一定に保たれていることはまれであり、むしろ変動している。個体群密度が低いときは、個体群の増加率が高いが、密度が高くなるにつれて、資源不足や老廃物の蓄積などにより個体群の増加率が低下する。このように個体群密度の変化により、個体群の性質が変化することを（　**ア**　）という。例えば、密閉された容器内でショウジョウバエを飼育すると、その個体数は（　**イ**　）の成長曲線を描き、安定した値に落ち着く。この値を（　**ウ**　）という。

	ア	**イ**	**ウ**
①	環境抵抗	J 字型	密度効果
②	環境収容力	J 字型	環境抵抗
③	密度効果	S 字型	環境収容力
④	環境抵抗	S 字型	密度効果
⑤	密度効果	J 字型	環境収容力

問１９　バッタの個体群において、群生相の個体が生まれる遺伝的要因と環境的要因に関する記述として、最も適切なものはどれか。

① 群生相の形質は、高密度環境で新たな遺伝子が突然変異することによってのみ発現する。
② 群生相と孤独相は、環境の条件によらず、それぞれ固定された異なる遺伝子型によって決定される。
③ 孤独相の個体が、高密度という環境条件に応答して、同一の遺伝子型のまま形質を変化させたものが群生相である。
④ 群生相への変異は、環境収容力が低い環境でのみ起こり、低密度環境では遺伝子頻度は変化しない。
⑤ 群生相の個体は、孤独相の個体と比べて、生殖隔離が起こりやすく、異なる種として認識される。

問２０　ハーディ・ワインベルグの法則は、ある生物集団において遺伝子頻度が変化しない（進化しない）場合に成り立つ理論である。**a**～**f** の記述のうち、この法則が成り立つ条件として適切な組み合わせはどれか。

a　集団の個体数が非常に少ないこと
b　突然変異が頻繁に起こっていること
c　集団内での自由な交配（ランダム交配）が行われること
d　自然選択（淘汰）がないこと
e　他の集団との間で、個体の移入や移出が活発に行われていること
f　個体群が閉鎖されており、遺伝子の流出入がないこと

① **a, b, c**	② **a, d, f**	③ **b, c, f**	④ **c, d, f**
⑤ **a, b**	⑥ **b, c**	⑦ **c, d**	⑧ **d, e**

数　学

(1) 解答は，答え部分の［　　］の中の片仮名ア，イ，ウ,･･･に，
マークシートの－，±，0，1，2，･･･，9 の記号や数字が、
それぞれ一つずつ対応している。最も適当な記号や数字を
鉛筆で塗りつぶすこと。
問題冊子の問題番号Ⅰ・Ⅱに対応した解答欄にマークすること。

(2) 答えが分数になる場合は，必ず既約分数（それ以上約分できない
形の分数）にすること。

(3) 答えに根号が現れる場合は，根号の中は最も簡単な形にすること。
例えば$\sqrt{12}$の場合，$2\sqrt{3}$のようにする。

Ⅰ

次の各問いに答えよ。

(1) $(x+3)(x+5)(x-2)(x-4)$ を展開すると

x^4+［ア］x^3-［イ ウ］x^2-［エ オ］$x+$［カ キ ク］である。

(2) $2x^2+(x^2+7x-3)(x^2+10x-3)$ を因数分解すると

$(x^2+$［ケ］$x-$［コ］$)(x^2+$［サ］$x-$［シ］$)$ である。ただし，ケ ＜ サとする。

(3) 濃度 25%の食塩水と濃度 5%の食塩水を混ぜて 500 g の食塩水を作る。このとき，
混ぜてできる食塩水の濃度を 12%以下にしたいとき，
5%の食塩水の量は［ス セ ソ］g 以上である。

(4)　△ABC において，AB = 10，BC = 13，CA = 7 とする。このとき，

頂点 A から辺 BC へ下した垂線の長さ h は h = $\dfrac{\boxed{タチ}\sqrt{\boxed{ツ}}}{\boxed{テト}}$ である。

(5)　実数 a は定数とし，$f(x) = x^2 + 2x - 7$，$g(x) = -x^2 + 2ax - a^2 + 2a$ とする。
すべての実数 x に対して $g(x) < f(x)$ が成り立つような a の値の範囲は、
$a <$ ナニ，ヌ $< a$ である。

(6)　以下のデータについて，第 1 四分位数 Q_1，第 2 四分位数 Q_2，第 3 四分位数 Q_3 を求めると，$Q_1 =$ ネ，$Q_2 =$ ノ，$Q_3 =$ ハ であり，外れ値は ヒ 個存在する。

2　3　3　3　4　4　5　5　10

(7)　袋 A には赤球 3 個と白球 7 個，袋 B には赤球 5 個と白球 5 個が入っている。
各袋から同時に 2 個ずつ無作為に取り出すとき，

取り出した 4 個が，赤球 3 個と白球 1 個となる確率は $\dfrac{\boxed{フヘ}}{\boxed{ホマミ}}$ である。

(8)　半径 5 の円に対して、点 A から接線を 2 本引いた。
円の中心 O から点 A までの距離が 13 のとき，接線の長さは ムメ である。

Ⅱ

[1]

a を定数として、2 次関数 $y = -x^2 + 2(a+1)x - 6a + 2$ を考える。

このとき、以下の問いに答えよ。

(1)　この 2 次関数と x 軸が 2 つの共有点をもつような定数 a の値の範囲は,

$a <$ ア , イ $< a$ である。

(2)　この 2 次関数と x 軸の 2 つの共有点を A，B とする。このとき，点 A の x の値は負，点 B の x の値は正になるような定数 a の値の範囲は,

$a <$ $\dfrac{\text{ウ}}{\text{エ}}$ である。

(3)　この 2 次関数と x 軸の 2 つの共有点が 2 つとも $3 < x < 6$ にあるような定数 a の値の範囲は, オ $< a <$ $\dfrac{\text{カキ}}{\text{ク}}$ である。

[2]

三角形 ABC において，AB = 10，BC = 12，CA = 14 とする。また，∠A の二等分線と辺 BC との交点を D とする。このとき，次の値を求めよ。

(1)　BD : DC = ケ : コ

(2)　AD の長さ = $\sqrt{\text{サシス}}$

(3)　三角形 ABC の面積 = セソ$\sqrt{\text{タ}}$

三角形 ABD の面積 = チツ$\sqrt{\text{テ}}$

国　語

設問は30題ある。
解答はそれぞれの設問の選択肢の中から一つ選び、解答用紙の問1～問30の該当する箇所を鉛筆でぬりつぶすこと。

一

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

①

大正時代の終わり頃から昭和の中期にかけて、A白樺派の文人、柳宗悦（やなぎむねよし）が主導した「民藝運動」は、職人仕事の保護、支援、育成ということに力を注いだ。が、何よりこの運動で眼を開かれた気がしたのは買い手のほうだろう。いい買い手が生まれなければ、職人の手技は保ちようがない。B「民藝運動」は、何がいい日常品かを啓蒙する大購買運動だったとも言える。この行き方は、［Ⅰ］正しいものだったと私は思う。

柳の言う「民藝」とは、庶民による工芸のことである。［Ⅱ］そう言うのは、庶民が作ったのでない、芸術家風な人の署名入り工芸品があるからだ。そういうものより、「民藝」のほうが［Ⅲ］優れている、という強い主張を柳は展開した。この運動によって「民藝」という言葉は著しく普及した。観光地の土産屋のことを、民芸店と言ったりすることも普通になった。そこで売られているものは、［Ⅳ］工場の機械生産品であって、庶民の手仕事で成った工芸品などには程遠い。「民藝」という言葉は、普及したと言うより、［Ⅴ］意味を失くしたと言ったほうが正しいのだろう。

②

民芸品に対立している二つのものがある。ひとつは工場の機械生産品であり、もうひとつは芸術家の美術品である。二つは無関係なもののように見えるが、同じ親から産まれてきたc仲の悪い兄弟かもしれない。近代になり、機械工業が急速に発達すると、芸術家の美術品はますます自分固有の領分を固く守るようになった。二十世紀になり、極端に離れあった二つに共通しているものは、手技の欠(ア)ジョというこの一点である。

しかし、手技の工芸は、仲の悪いこの兄弟の共通の親だったと言える。人間は、道具を発明する唯一の生きものである。人間が、他の動物を制して生きられるようになったのは、この道具の発明による。ところが、道具は最初に発明されたその時から、二つの傾向を内側に持っていた。ひとつの傾向は手技を伸ばし、もうひとつの傾向は機械技術を発達させ

た。すでに書いたように、D手技の道具は、それを使う人の知覚や感覚を、ずっと遠くにまで拡大させ、深化させる。機械は、それを使う人の知覚や感覚を狭く、小さくし、時に消滅させてしまう。道具のなかから［一］の傾向が生まれてくると、道具はそれに続いてもうひとつの傾向を第二子のように生んだ。それが、近代芸術と呼ばれるものである。

そう考えると、道具のなかには、機械の傾向と表裏を成すように、芸術の傾向もまた含まれていたようである。近代芸術は、機械生産が捨てるものを何でも拾って、自分の専門分野にする。魂、個性、自我、内面性、それに自己表現や独創といった言葉がそれらを指すようになる。そうやって、〈純粋芸術〉の観念がいったん生まれると、自己表現や独創といったものは、ずっと大昔からすでにあって、実際に行なわれていたもののように錯覚される。しかし、ずっと大昔からあったのは、道具であり、道具を驚㋑タンする程に使いこなした人間の手技である。

③

柳宗悦の著書に、E『手仕事の日本』という非常に美しい本がある。これは昭和十八年頃に柳が戦時下の青少年のために書き下ろし、戦争が終わって間もなくの昭和二十一年に増㋒ホされて刊行された。その内容は、柳が日本全国を回って実地に確かめた手仕事による工芸品を、ひとつひとつ丹念に紹介する、というものである。一頁おきに(注1)芹澤銈介(けいすけ)の簡素で適確な小間絵(こまえ)が入れられている。竹で編んだ笊(ざる)や弁当箱、欅(けやき)の箪笥(たんす)、柳行李(やなぎごうり)、太鼓、火消し壺、土瓶、土鍋、刷毛(はけ)、箒(ほうき)、鍬(くわ)、鋏(はさみ)、木綿の織物、みなほんとうに美しい。

こういうものを生み出すF手仕事の熟練は、ただもう同じものを繰り返し無心に作る、というところからしか来ない。そうやって作られる日常品は、機械製品には決してまねのできない「味」と感覚の深さを湛(たた)えている。土地の素材を使った土地の工芸品は、まったく生活のためにあり、生活のなかで無雑作に使い尽くされていく。G自然と生産生活との間の終わりのない循環がここにある。この循環こそ、実は人の生活の独立を根底から保障してくれるものだ。

使う人は、これらの日常品がいいとも悪いとも思わず、ただ必要に応じて使ってきたのだろう。けれども、人の手が物の在りようを深く、美しくしていくにつれ、物が人の心を養い育てていく、ということは、ごく当たり前の、どんな時代にも変わらない文化の事実である。生活のなかで絶えず確かめられていく真実である。そのことを、どうかわかってほしいと、柳は戦時下の子供たちに呼びかける。

近代の機械産業は、こういう手仕事を古くて、効率の悪い、ほとんど惨めな生産形態として、どんどん駆逐していった。が、駆逐されたのは生産形態だけではない、物と心をつ

ないできた何千年の文化の連続が投げ棄てられたのである。このことに㋑テッ底して気が付くのに、人類はあとどれくらい時間をかければいいのだろうか。

④

ところで、近代の「芸術家」だが、この人たちはまたH大変困ったところにいる人たちなのである。大資本による機械生産を呪いながら、手仕事は放棄している。自我や個性の独創的表現を競い合いながら、手技の習練は失っている。こういう世界では、当然ながら何が何よりいい表現なのか、独創的なのかは、いたって曖昧になり、自分の名を売ろうとする自負心ばかりが先に立つ。

昔からの工芸品の作者たちは、自分が作者である自負も、自覚も持っていない。持つ必要がまるでない。彼らの熟練は、作られる物と、それを使う名もないたくさんの人たちのためにだけある。だからこそ、その手技は、物の性質を極めた一種の普遍性に達しているのである。「芸術家」にとって、作品に自分の名を書き込むことは、何より重要なことになる。意地悪く言えば、［二］は作品を作る目的そのものでさえあるだろう。

機械による製品はおそろしく大量に作られる。それに比べたら、高名な「芸術家」はほんの少ししか作らない。そのことで、妙な商品価値が生まれたりもする。工芸品は、かなりたくさん作られるけれども、職人の人力を超えては作られない。この人力の限界と、物を使って営まれる生活の必要とは、いつも調和している。調和を崩すものは、近代が作り出した不自然な欲望だと言っていい。工場の大量生産品を何でも買いたがる欲望と、わけのわからない高価な署名入り美術品を買いたがる欲望は、まったく裏表の関係にある。

もっとも、高名な工芸品作者というものは、近代になる前から日本にもいる。そういう人の作には銘があり、その作は後になってしばしば「独創的」だと言われたりしてきた。道具を使う手技には、そもそもそうした「芸術品」を生む傾向が奥に潜んでいたのだろう。都市型の消費社会が発達すると、その傾向がはっきり顔を出してくる。柳宗悦の「民藝運動」が、社会的な効用を発揮したのはここである。たとえば、(注2)本阿弥光悦（ほんあみこうえつ）の高名な茶碗より、同じ時代の無名の工人が作った飯茶碗のほうがすぐれている。静まって確かな、手に馴染む立派な美しさがある。柳は、そういうことを大いなる説得力をもって言い、また買う人たちをすっかりその気にさせた。

I署名のある「独創的」な作品より、無名の職人が手技で作る日常品のほうにずっとすぐれたものがある。それはなぜか。理由はいろいろとあるだろうが、一番根本のところは、手技の習練というものそれ自体が、自我だの個性だの、その独創的表現だのというあやふやな観念と反対の傾向にあるからだろう。手技の習練を怠り始めた時、人はそういった種類の観念に逃げ込み、いつかそこから抜け出せなくなる。

機械産業が発達し、手技がその習練の場を失うようになると、それらの観念はますます本当らしい顔をして、社会の到る所にはびこってくる。現代では、小学校の教育にさえ、独創性の観念は羽振りをきかせていて、絵を描く時でも、作文を書く時でも、「感じたことをそのまま表現する」子供が褒められる。実際には、そんなことができる人間は、どこにもいないのだけれども。学校では、そうした独創性尊重は、画一化された知識の丸暗記とまったく並行して進められる。手技を失った現代社会が、機械産業と独創的表現を併存させなくては成り立っていかないことと、それは完全に同じ現象である。

手技が物を作り出すのは、生きた自然に入り込むことによってだが、それを可能にさせる力は、個性ではない。ひたすらに為される習練であり、身ひとつに沁み込んだその記憶である。その記憶は、おそろしく遠いところ、歴史のはるか彼方にまで通じているだろう。こうやって生み出される物が、無個性であろうはずはない。だが、それは個性的であろうなどという顔は少しもしていない。ただ〈物〉であるだけで充分だ、という顔をしている。どんな領域であろうと、「独創」された作品などは、実に閉口な、またありふれた代物なのである。

（前田英樹『独学の精神』による）

（注１）染色工芸家。重要無形文化財「型絵染」の保持者（人間国宝）。民藝運動に共鳴し、柳宗悦とともに日本各地を訪ねて民芸品や民具を調査した。

（注２）江戸初期の数寄者。陶芸家、書家、画家などとして名を残し、代表作に国宝・白楽茶碗「不二山」などがある。

問1～**問4**　傍線部㋐～㋓に相当する漢字を含むものを、次の各群の傍線部①～④のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

問1　㋐　欠ジョ

① 面目躍ジョ
② 資金の援ジョ
③ 本のジョ文を書く
④ 道路をジョ行する

問2　㋑　驚タン

① 大タンな行動
② タン精を込める
③ 詩歌に詠タンする
④ 経営が破タンする

問3　㋒　増ホ

① 実態をホ捉する
② 損害をホ償する
③ ホ調を合わせる
④ 返事をホ留する

問4　㋓　テツ底

① 初志貫テツ
② テツ学を学ぶ
③ 寸テツも帯びず
④ 役員の更テツ

問5　傍線部Aに「白樺派の文人、柳宗悦」とあるが、同じ「白樺派」に属し、『暗夜行路』を著した人物を、次の①～⑤のうちから、一人選びなさい。

① 武者小路実篤
② 有島武郎
③ 志賀直哉
④ 永井荷風
⑤ 高村光太郎

問6 傍線部Bに「『民藝運動』は、何がいい日常品かを啓蒙する大購買運動だった」とあるが、筆者がこのように評価する理由として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① 職人たちに対して、売れる商品を作るためのマーケティング手法を指導したから。
② 職人を支援するだけでなく、消費者の眼を開かせ、審美眼を養ったから。
③ 政府の支援を受けて、日本製品の輸出を促進する経済政策として機能したから。
④ 芸術家たちに働きかけて、彼らの作品を大衆向けに安価で販売させたから。
⑤ 観光地の土産物屋を整備し、地域経済の活性化に大きく貢献したから。

問7 空欄Ⅰ～Ⅴに入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① Ⅰ 大変　Ⅱ わざわざ　Ⅲ はるかに　Ⅳ もちろん　Ⅴ 次第に
② Ⅰ 次第に　Ⅱ 大変　Ⅲ わざわざ　Ⅳ はるかに　Ⅴ もちろん
③ Ⅰ もちろん　Ⅱ 次第に　Ⅲ 大変　Ⅳ わざわざ　Ⅴ はるかに
④ Ⅰ はるかに　Ⅱ もちろん　Ⅲ 次第に　Ⅳ 大変　Ⅴ わざわざ
⑤ Ⅰ わざわざ　Ⅱ はるかに　Ⅲ もちろん　Ⅳ 次第に　Ⅴ 大変

問8 傍線部Cに「仲の悪い兄弟」とあるが、この言葉は何をたとえたものか。最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① 職人と芸術家
② 手技と機械技術
③ 庶民の工芸品と貴族の美術品
④ 工場の機械生産品と芸術家の美術品
⑤ 白樺派の文学とプロレタリア文学

問9 傍線部Dに「手技の道具は、それを使う人の知覚や感覚を、ずっと遠くにまで拡大させ、深化させる」とあるが、このことの具体例として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① スマートフォンを使って、世界中の情報を瞬時に検索すること。
② 自動車に乗って、徒歩では行けない遠くまで移動すること。
③ 望遠鏡を使って、肉眼では見えない星を観察すること。
④ マイクを使って、自分の声を大勢の人に届けること。
⑤ カンナを使って、木材のわずかな凹凸を感じ取ること。

問10 空欄［二］に入れる語句として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

① 芸術
② 資本
③ 手技
④ 生活
⑤ 機械

問11 傍線部Eに「『手仕事の日本』という非常に美しい本」とあるが、柳宗悦がこの本を執筆した背景と意図はどのようなものか。最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① 明治維新によって失われた日本の伝統文化を、海外に向けて広く紹介するというもの。
② 戦時下の子供たちに向けて、手仕事を通じて物と心が育て合う文化の真実を伝えるというもの。
③ 機械生産の優位性を証明し、明治維新以降の日本の工業化をよりいっそう推進するというもの。
④ 自身の芸術理論を体系化し、この分野における専門的な学者としての地位を確立するというもの。
⑤ 地方の特産品を自らの著書で積極的に宣伝し、戦後の経済復興の足がかりにするというもの。

問12 傍線部Fに「手仕事の熟練」とあるが、筆者が考える「熟練」の目的として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① 作られる物そのものと、それを使う名もない人々の生活のため。
② 歴史に名を残し、後世の人々に称賛されるため。
③ 自分の個性を表現し、他者との違いを際立たせるため。
④ 高値で取引される作品を作り、富を得るため。
⑤ 機械には不可能な複雑な工程をこなし、高い技術を誇示するため。

問13 傍線部Gに「自然と生産生活との間の終わりのない循環」とあるが、これはどういうことか。最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① 自然破壊を行わず、リサイクル可能な素材だけを使って物を作ること。
② 農業と工業が対立せず、互いに補完し合いながら経済を回していくこと。
③ 土地の素材で道具を作り、生活の中で使い尽くして自然に還し、また作ること。
④ 親から子へ、子から孫へと、伝統的な技術が絶えることなく継承されていくこと。
⑤ 人間が自然の一部であることを自覚し、自然の神々を崇拝しながら生活すること。

問14 傍線部Hに「大変困ったところにいる人たち」とあるが、筆者が近代の「芸術家」についてこのように評価する理由として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① 貧困にあえぎながらも理想を追い求め、社会的な常識から逸脱した生活を送っているから。
② 自分の作品が高値で売れることばかりを考え、芸術の本質である美の追求を忘れているから。
③ 機械生産の利便性を享受しつつ、口先だけで手仕事の重要性を説くところを偽善者であると感じているから。
④ 機械生産を嫌いながら手仕事を放棄し、手技の裏付けがないまま独創性ばかりを競っているから。
⑤ 伝統的な技術を軽視し、海外の流行ばかりを無批判に取り入れて名を上げようと考えているから。

問15 空欄[二]に入れる語句として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① 独創性
② 闘争心
③ プライド
④ 署名
⑤ 習練

問16 傍線部Ⅰに「署名」とあるが、筆者が考える「署名」の目的として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① 職人が自分の仕事に責任を持つための、品質保証の証である。
② 芸術家にとっては作品を作る目的そのものになりうる、自我の主張である。
③ 作品の価値を高め、偽造を防ぐための商業的な手段である。
④ 伝統的な工芸品において、流派を示すために不可欠な要素である。
⑤ 購入者が作者とつながりを持つための、コミュニケーションツールである。

問17 空欄[①]～[④]にはそれぞれ、その後の文章の内容を端的に表す小題（小見出し）が入っていた。その組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

① 「民藝運動」とは何か → 〈芸術家〉の錯覚 → 手仕事の日本 → 「独創的」作品よりも無名の日常品が勝るのはなぜか
② 「民藝運動」とは何か → 道具と機械の系譜 → 手仕事の日本 → 「独創的」作品よりも無名の日常品が勝るのはなぜか
③ 「独創」は無意味である → 「民藝運動」とは何か → 手仕事の日本 → 署名入り作品よりも無名の日常品が勝るのはなぜか
④ 「民藝運動」の啓蒙活動 → 機械技術の発達 → 戦時下の手仕事 → 署名入り作品よりも無名の日常品が勝るのはなぜか
⑤ 「民藝運動」の意義 → 〈芸術家〉の自負 → 手仕事の日本 → 「独創的」作品よりも無名の日常品が勝るのはなぜか

三

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

書く側には、誰も読まないかもしれないなどという想像は浮かんでこない。何の疑いもなく、読み手の存在を当然の前提として文章を綴る。だが、人間には、読む権利があると同時に、読まない自由もある。そんな何の義務も義理もない赤の他人に、ぜひ読んでもらおうと思えば、それ相応の［一］が必要だ。まずは、読むに値するすぐれた内容を盛ること、そして、読むにたえる秀でた表現で綴ることである。わざわざその文章を読んでくれる奇特な相手に感謝し、その［二］をできるだけ減らすことで少しでもその労に報いたい。

一般的な心構えとしてなら、そんなことは誰にでもわかっているかもしれない。だが、具体的にどうするかがむずかしい。しかも、表現の方策と効果はつねに一定ではない。読み手により、局面により、その目的により、その他さまざまな条件に応じて、結果はそれぞれ違うから、現実には①途方にくれるばかりである。［①］

ただ漫然と書くのではなく、まずは誰が読むのかを考え、語りかける方向を定めよう。Aこういう極端な例ならわかりやすいだろう。意中の人の心に訴えかけるべき恋文を、もしも万人向けに書き、そんなものをビラのように配ったら、肝腎の相手は本気にしない。

［②］

こんなふうに読み手の方向性をしぼる配慮は、特定の人に宛てる手紙にだけ必要なわけではない。程度の違いこそあれ、書きだす前に誰でも考え、実際に試みているはずなのだ。ここが［三］だと、ピントが甘くなり、フォーカスが定まらないから、論点がぼやけてしまう。一般向けの文章であっても、どういう人に読んでもらいたいのかという、いわば文章の宛先をできるだけ限定し、ターゲットとなる読者層を明確にして書きたい。意識してピンぼけを防ぎ、Bシャープな文章に仕立てるためである。

［③］

通常の文章はたいてい不特定多数の読み手を想定して書く。だから、もちろん、どんぐり眼でおちょぼ口をした丸顔のぽちゃぽちゃっとした女の子などと、［四］の読み手をイメージするわけにはいかない。とはいえ、読者層はのっぺりとした②得体の知れないかたまりとは違う。子供か大人か、男性か女性か、学生か社会人か教員か職人か主婦か、その問題にどの程度の関心や知識のある人びとなのか、可能な範囲で読者対象をしぼりこみたい。どういう人が読むかによって、適切な表現はそれぞれ違ってくる。どのような人間が読むかという点を一切抜きにして、絶対すぐれた文章などというものはありえないからである。［④］

読み手の立場に寄り添って書くようにと説くのは、おそらく文章作法書というものの③常道だろう。そういう当然のことができるのは、書き始める前に読者層のイメージが頭の

なかにおおよそ方向づけられているからだ。むろん、世の中には、物知りもいれば、物知らずもいる。関心のありかも人それぞれみな違う。ぴたりと照準を合わせるのは④至難の業だ。それでも、書くのは自分で、読むのは他人、その他人はc自分とはまるで違う人間であるという当然きわまる事実を、きちんと認識して書く、その第一歩が肝腎なのである。

⑤

子供の生まれた家に市長名で「御出産おめでとうございます」という祝いの手紙が来て、よく見ると宛名が赤ん坊になっていた、そんな笑い話みたいな実話があるらしい。「出産」したのは母親であって、子供は夢中で「誕生」したにすぎない。発信人としては、赤ん坊はまだ字を知らないから実際に読むのは母親だと気をまわしすぎて、全体としてつじつまの合わない通信文になったのかもしれない。もし一度でも、宛名の相手の身になって読み返すことがあったら、D[こういう間違いはきっと避けられたはずなのだ。]

この場合はまだ愛嬌（あいきょう）といって済まされそうな例だが、気づかずに相手を傷つけるケースもある。たとえば、東京の人間に「下阪」と書かれたら、きっと大阪の人間はいい気持ちがしないことだろう。大阪へ下るなどと、相手を見くだす態度が気に食わないはずだ。

かつて千年以上も都だった京都、その地に生まれ育った人は、長年にわたって「京に上る」と言われてきただけに、東京に行くという意味の「上京」という語に抵抗が強く、無意識のうちにその使用を避ける傾向がありそうだ。身近なところで、こんな実例がある。

早稲田大学大学院の(注1)中村ゼミの修了生に、たしか(注2)本能寺小学校を卒業し、今でも京都の中心街に住む、雑誌に写真の載るほど着物姿の映える生粋の京女がいる。久しぶりに指導教授の家を訪ねたいという便りが届いた際、きっと「上京」という語は使わないだろうと予想して読むと、はたして「東京入り」とある。何やら(注3)赤穂浪士の江戸入りじみた連想もないではないが、そうこだわる気持ちは、痛いほどよくわかる。その予告どおりに来訪し、久しぶりに対面した優雅な洋服姿のこの弟子の前で、せっかく⑤忌避した「上京」という語をうっかり使ってしまったら、あまりに無神経だと思われかねない。応接間で談笑しながらも、ソファーでひそかに気をひきしめていたような気がする。

以前、「都下小金井市」と宛てたはがきが舞い込んだことがある。作家の永井龍男から届いた一通だったかもしれない。ほのかに文学的かおりが漂うせいか、「都下」という懐かしいことばから、国木田独歩やE徳冨蘆花（ろか）などの時代の武蔵野のおもかげが目に浮かび、一瞬のんびりとした雰囲気を味わったような記憶がある。だが、これをもし、東京の中心街から遠い土地に住んでいることを気にしている人間が読んだら、ちょっと複雑な気持ちかもしれないとも思った。F[同じそのことばから、都心に住む人が近郊を「いなか」と見くだすまなざしを感じとらないとも限らない。]相手次第で効果も逆効果もあるから微妙である。

広く読まれる文章では相手も不特定だから、どういう表現で誰が傷つくか、ますます油断がならない。要は他者への配慮であり、やさしさである。基本はそれに尽きるだろう。

（中村明「日本語の作法　しなやかな文章術」による）

（注１）早稲田大学大学院において、筆者が主宰していたゼミ。

（注２）正しくは、京都市立本能小学校のことだと思われる。一九九三年に京都市立高倉西小学校に統合され、閉校した。

（注３）江戸時代中期におこった赤穂事件において、武家の名門を襲った浪士たちのこと。「浪士」とは、領地や身分を失った武士を指す。

問18　傍線部①～⑤の語の読みとして間違っているものを、一つ選びなさい。

① 途方（とほう）　② 得体（とくたい）　③ 常道（じょうどう）　④ 至難（しなん）　⑤ 忌避（きひ）

問19　空欄一に入れる語句として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① 勇気　② 才能　③ 時間　④ 配慮　⑤ 資格

問20　空欄二に入れる語として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① 時間　② 費用　③ 誤解　④ 批判　⑤ 負担

問21　次の文を本文の本来あった箇所に戻す場合、最も適切な箇所を、本文中の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

だから当然、そんな場合は誰だって、内容も表現も、そのかけがえのない一個人に合わせて書く。

問22　傍線部Aに「こういう極端な例」とあるが、筆者が「極端な例」を挙げた理由として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① 読み手の方向性をしぼるというねらいが、最もわかりやすく現れる例だから。
② 恋文だけが、読み手を一人に限定できる特殊な文章だから。
③ 恋文は感情に訴えかけるものであり、論理的な文章とは対極にあるから。
④ 昔ながらの手紙という形式が、現代の文章作法とはかけ離れているから。
⑤ 内容や表現を間違えると、相手に誤解されやすい危険な文章だから。

問23　空欄[三]に入れる語句として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① 複雑
② 専門的
③ 曖昧
④ 感情的
⑤ 画一的

問24　傍線部Bに「シャープな文章」とあるが、筆者が考える「シャープな文章」として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① 専門用語を多用した、知的でレベルの高い文章。
② 簡潔な言葉で要点のみを的確に伝えている文章。
③ 美しい比喩やリズム感のある、文学的で洗練された文章。
④ 想定する読者層および論点が明確な文章。
⑤ 誰が読んでも絶対に誤解の余地がない、明快な文章。

問25 空欄四に入れる語として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① 個別
② 理想
③ 平均
④ 無数
⑤ 匿名

問26 傍線部Cに「自分とはまるで違う人間であるという当然きわまる事実を、きちんと認識して書く」とあるが、これはどういうことか。最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① 読者は自分よりも知識がないという前提で、できるだけ平易な言葉で書くこと。
② 読者は自分と違う意見を持っている可能性を考え、断定的な表現を避けること。
③ 読者は書き手個人には関心がないと考え、客観的な事実のみを記述すること。
④ 読者が自分と同じように考え、感じてくれるはずだという思い込みを捨てること。
⑤ 読者は自分を批判的に見ていると考え、論理的な隙がないように書くこと。

問27 傍線部Dに「こういう間違いはきっと避けられたはずなのだ」とあるが、筆者がこのように述べる理由として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① 市長が手紙の内容をもっと注意深く確認すればよかったから。
② 「出産」と「誕生」という言葉の違いを正しく理解していればよかったから。
③ 書き手が相手の立場に立てば、宛名や文章の不自然さに気づけたはずだから。
④ 母親と赤ん坊のどちら宛にすべきか、事前に決めておけばよかったから。
⑤ 赤ん坊ではなく、最初から母親を宛名にして手紙を作成すればよかったから。

問28 傍線部Eに「徳富蘆花」とあるが、徳富蘆花と同じくロマン主義の作風で、『たけくらべ』や『にごりえ』を著した人物を、次の①～⑤のうちから、一人選びなさい。

① 島崎藤村
② 泉鏡花
③ 北村透谷
④ 森鴎外
⑤ 樋口一葉

問29 傍線部F「同じそのことばから、都心に住む人が近郊を『いなか』と見くだすまなざしを感じとらないとも限らない」とはどういうことか。最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、一つ選びなさい。

① 言葉が本来持つ意味とは別に、読み手の知識や背景、立場によって全く異なる意味に解釈され、書き手の悪意を深読みされる危険性があるということ。
② 言葉が持つ本来の意味そのものよりも、その言葉が使われた状況や文脈の方が重要であるということ。
③ 都心と近郊では言葉のニュアンスが微妙に異なり、そのために誤解が生じやすいということ。
④ 都会の人間は、地方の人間に対して無意識のうちに差別的な感情を抱いているということ。
⑤ 書き手が良かれと思って使った言葉でも、読み手の境遇や心理によっては、不快感を抱かせてしまう場合があるということ。

問30 本文において、筆者が文章を書く上で最も大切だと考えていることは何か。最も合うものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

① 誰も読まないかもしれないという想像力を持ち、謙虚な気持ちで書くこと。
② 誰に読んでもらいたいかを明確に意識し、その相手への配慮を忘れないこと。
③ 読み手に感謝の気持ちを伝えるために、丁寧な言葉遣いを心がけること。
④ 優れた内容と優れた表現の両方を追求し、文章の完成度を高めること。
⑤ どんな相手にも誤解されないよう、客観的で中立的な表現を徹底すること。

英　語

【I】(問１—問４)　下線部の発音が他と異なるものを選びなさい。

問１　①h**o**ney　②st**o**mach　③h**o**nest　④L**o**ndon

問２　①**au**thor　②**au**dience　③g**au**ge　④ p**au**se

問３　①re**s**ist　②loo**s**e　③re**s**olve　④new**s**

問４　①d**a**nger　②m**a**jor　③st**a**dium　④gar**a**ge

【II】(問５—問８)　アクセントの位置が他と異なるものを選びなさい。

問５　①pattern　②dessert　③response　④success

問６　①ability　②anxiety　③difficulty　④majority

問７　①contribute　②estimate　③opposite　④substitute

問８　①operator　②engineering　③comfortable　④manager

【III】(問９—問１５)　(　　)に入れるのに最も適切なものを選びなさい。

問９　He made a speech (　　) the importance of mental health.
①concerned　②concern　③concerns　④concerning

問１０　He speaks English (　　)better than I expected.
①many　②more　③much　④most

問１１　If it (　　) not been for your help, we would have failed.
①had　②were　③have　④is

問１２　(　　) hard all day, she was extremely tired.

①Wrought　②To work　③Worked　④Working

問１３　There was (　　) in this class who could solve the national exam question.

①hardly anyone　②hardly any　③hardly ever　④hardly

問１４　The patient was asked to stay in bed for complete (　　).

①surgery　②recovery　③injury　④disease

問１５ The patient complained of severe (　　) in his chest.

①plain　②plan　③pain　④gain

【IV】(問１６―問２０)　各問の①～⑤の単語を並べ替えて空所を補い、文を完成しなさい。解答は（　16　）～（　20　）に入るものの番号を答えること。

問１６　遅くなってきたので、私たちは駅まで急いで歩いた。

We (　　) (　　) (　　) (　16　) (　　) because it was getting late.

①　to　②station　③the　④quickly　⑤walked

問１７　みさえはまるでずっと前から知り合いだったかのように彼に話しかけた。

Misae spoke to him (　　) (　17　) (　　) (　　) (　　) each other for a long time.

①known　②they　③though　④as　⑤had

問１８　日本人は、きれいな水がいつでも手に入ることを当たり前だと思っている。

Japanese people (　　) (　　) (　18　) (　　) (　　) clean water is always available.

①granted　②take　③that　④for　⑤it

問１９　彼にはこのパズルの問題を解決する能力がある。

He (　　) (　　) (　　) (　19　) (　　) puzzle.

①this　②of　③solving　④is　⑤capable

問２０　この参考書は英語を学ぶ社会人にとって非常に役立つことがわかった。

This reference book has (　　) (　20　) (　　) (　　) (　　) for working adults learning English.

①to　②extremely　③proved　④useful　⑤be

【Ⅴ】(問２１―問２５)　次の会話を読んで(　)内に入る表現が最も適切なものを①～④の文章の中から選びなさい。

問２１

Mother: Andy, you (　　) for three hours now. I think it's time to stop and take a break.

Andy: OK, Mom. Just another ten minutes.

① studying
② have been studying
③ were studying
④ studied

問２２

Meg: How is the construction of your new house going, John?

John: Well, it's a bit (　　). I have to talk with the company and ask why it's late.

① on board
② for sale
③ in charge
④ behind schedule

問２３

Anne: How do you like this apple pie, Mr. Dan?

Dan: Oh, this is the best apple pie that I have (　　) eaten.

① ever
② never
③ before
④ after

問２４

Elly: I hear your brother has been sick in bed with a stomachache.

Susan: Well, he's getting better. He seems to (　　) some bad food.

① eat
② ate
③ have eaten
④ be eating

問２５

Jim: What are you going to do after you graduate from high school, Eve?

Eve: I plan to go to college and (　　) Nursing.

① carry out
② reach for
③ come across
④ major in

【Ⅵ】(問２６―問２７)　次の英文を読んで各設問に答えなさい。

Haruko's Homestay

Haruko went to America on a homestay last month. She enjoyed speaking English with her host family and learning about life in America. At the end of her stay, she took her host family out to dinner at a popular Japanese restaurant. Haruko had not made a reservation, and the restaurant (　問 26　). But luckily, they were able to get a table after waiting for 30 minutes.

Haruko ordered many Japanese dishes for everyone to try. When the dishes came, she explained what they were. After the meal, Haruko thanked her host family. She said it was very kind of them to let her stay at their house. Everything went well until it was time to (　問 27　).

Haruko realized that she had forgotten her wallet. She had to ask her host parents for some money. She felt embarrassed, but she promised to give the money back at home.

問２６　(　) 内に入る表現が最も適切なものを①～④の文章の中から選びなさい。

① was crowded
② had many tables
③ won several awards
④ closed early

問２７（　）内に入る表現が最も適切なものを①～④の文章の中から選びなさい。

① order some dessert
② pay for the meal
③ take the first bite
④ get into the car

【VII】 (問 28-問 32) 次の英文を読んで各設問に答えよ。

You (問 28) may think that deserts and tropical rainforests are both hot places because they are located in warm regions, but their climates are actually quite different. Deserts are very dry and receive only a small amount of rain throughout the year. In many deserts, the temperature becomes high during the day, but it drops sharply and gets much colder at night. Tropical rainforests, (問 29), are warm, wet, and rich in vegetation. A rainforest (問 30) with thick trees and receives heavy rain almost every day. The temperature in tropical rainforests does not change very much between day and night, and it stays warm throughout the year. The average temperature in the Amazon rainforest is about 27 degrees Celsius, while in deserts the daytime temperature can exceed 40 degrees Celsius.

問 28

下線部 may の意味として最も適切なものを選びなさい。

① ～に違いない ② ～かもしれない ③ ～すべきである ④ ～できる

問 29

Which word fits the sentence?

① for example ② on the other hand ③ consequently ④ moreover

問 30

Which word fits the sentence?

① has covered ② is covered ③ covers ④ was covering

問 31

Which statement about tropical rainforests is correct according to this passage?

① They have little rain throughout the year.
② The temperature changes a lot between day and night.
③ They are warm, wet, and have many plants.
④ They are usually colder than deserts

問 32

What would be the main idea of this passage?

① 世界の降水量の変化
② 熱帯雨林と砂漠の気候の違い
③ 熱帯雨林の動物の生態
④ 砂漠の歴史と文化

【VIII】(問 33—問 35) 英文を読んで各設問に答えなさい。

In recent years, many adults have started learning to play musical instruments in their free time. This trend began because of rising stress levels and a desire to find new hobbies. It also helps the brain by improving memory and concentration. However, not everything is easy. Beginners often struggle with sore fingers, difficult notes, or lack of time. Some give up after one month. Still, those who continue say the joy of playing a song is worth the effort. Clearly, learning an instrument has real benefits, but the (問 34) of this activity are also important to understand. We should think carefully before deciding to start lessons as an adult.

問３３ According to the passage above, which of the following is true?

① Musical instruments are easy to learn if you struggle.

② It is much easier to listen to recorded music so learning an instrument is not worth the effort.

③ Everyone who tries to learn a musical instrument can see the benefits after one year.

④ Many people start to learn a musical instrument to reduce stress and to have something to do in their free time.

問３４（　　）に入る最も適切なものを選びなさい。

① difficulties　② consequences　③ outcomes　④ advantages

問３５（ ）に入る最も適切なものを選びなさい。

Last Saturday, I went to a pottery studio with my best friend. We watched an old master shaping a large vase on the wheel. His hands moved smoothly and with complete confidence. The clay changed shape quickly, and the finished vase looked perfectly balanced. Many people in the class were quietly watching, and some were even holding their breath. When he finally lifted the vase off the wheel, everyone clapped loudly. I was really moved because（ 問 35 ）

① the pottery studio would be closing soon.

② my friend wanted to leave so I went with her.

③ he was so skillful for someone so young.

④ I had never seen such skillful work done by hand befor